

決済動向

— 平成7年10月 —

(平成7年12月11日)

1. 日本銀行における決済関連計数

10月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.0万件（前年比△2.1%）、金額ベースでは325.2兆円（同△0.2%）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は303.3兆円（前年比△0.9%）、民間の集中決済制度に係る資金決済は15.4兆円（同+9.2%）となった。

10月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで5.6万件（前年比+51.7%）、金額ベースで154.8兆円（同+57.4%）となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで4.4万件（前年比+24.6%）、金額ベースで228.2兆円（同+30.1%）となった。

10月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで129.8万件（前年比+0.2%）、金額ベースで6.2兆円（同+17.1%）となった。

10月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高7.0兆円（前年比+2.9%）、支払高7.4兆円（同+10.6%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、10月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは47.2万枚（前年比+3.3%）、金額ベースでは5.7兆円（同△35.8%）となった。

10月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは387.2万件（前年比+7.6%）、金額ベースでは8.5兆円（同+14.1%）となった。

10月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは3.7万件（前年比+29.6%）、金額ベースでは33.2兆円（同+25.6%）となった。

3. その他

10月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は9.5万契約（前年比△25.6%）、月末の建玉数量は128.6万契約（同△5.1%）となった。

(信用機構局)